

提言意見交換

8月4日（金）に、協働推進会議から今年度に提案された14件の協働事業提案について、公開プレゼンテーション、公開調整、公開検討会での検討をまとめた提言書を市長へ提出した。

当日は、協働推進会議渡辺代表から市長への提言書の提出が行われてた後、協働推進会議と市長との意見交換が行われた。

市長への提言書の提出

意見交換

協働推進会議代表のあいさつ

市長あいさつ

- ・提言書をまとめていただきありがとうございます。
- ・市民との協働は、古くて新しい課題。
- ・提言書を真摯に受け止めたいと思う。大和市の協働が進展していったらいい。

（意見交換の主な内容）

（委員）

- ・協働推進会議を通さない協働事業というものが存在している。協働推進会議が設けている公開のプロセスを通して、公平性や公正性を保つことができる。市民の信頼もこの公開性・公平性にある。庁内に調査し、整理してほしい。

（市長）

- ・本来、協働推進会議を通じて、協働事業という形で実施すべきものであれば、その部分の整理は必要だと思う。しかし、全てがこの協働推進会議を通すということではなく、市民との関わりということについては、さまざまな方法がある。いくつもの市民との関わり方の積み上げの中で、行政の事業が動いている。そういったことを全て整理して協働推進会議を通すということは難しい。
- ・原則、性善説、自由を基本として進めていっている。「協働事業」についての言葉の使い方を突き詰めていくことで、本来の協働推進という理念をつぶしてしまわないのかということも危惧する。

（委員）

- ・協働事業を公開していくことで、市民がどうすれば協働事業を実施できるのかということを知ることができる。

（委員）

- ・当初、条例を制定してから、いろいろと学んでいる過程であると思う。いくらいい協働事業をやろうとしても、市民団体が育ってないと協働事業はできない。また、市民のどんな小さな想いでもすくいあげていくという意識が市にないと、これも協働事業とならない。
- ・市職員に対して継続的な研修を市長から発するものとして実施してほしい。
- ・市民団体を育てるような支援をもっと充実してほしい。
- ・市民と市の双方の力を上げていくことで、協働を推進する両輪としてほしい。
- ・市長が協働を進めていくんだという姿勢を見せてほしい。

（市長）

- ・市長の役割は、コーディネーターであり、政策の方向性を示し、実施の責任を取るものであると考えている。自らが動いていくということでは、職員が指示待ちになる。職員に考えさせ、行動させている。
- ・条例の前文は本当に素晴らしいものである。市民の自治の力を社会資源としてできるだけ、活用する・活用してもらおうということが協働の本質だと思う。

（委員）

- ・市の職員が要職についている団体との協働については、どのように考えているか。

（市長）

- ・ケース バイ ケースだと思う。
- ・基金の設置についても大和市は他の市町村に対しては先進的に取組んでいる。
- ・市川市の1%支援条例も、大和市の基金も税金の活用法の提案であると考えられる。市への税金ではなく、市民のお金をそのまま市民活動等へ活用する仕組みの構築を考えている。
- ・みなさまから寄せられている寄附金の中にも、使い道を限定しないものもある。そういったことを協働事業や市民自治区というものへ使うために貯めておく。市民からの寄附と貯めておいたお金をマッチングさせ、協働事業や市民自治区へ活用し、市民の税金を使わない市民の活力を活かした事業展開をしていきたい。

提言意見交換

(委員)

- ・市民提案が徐々に減少してきている。市民提案がもっと出てくるように、市のほうもハードルを低くしてほしい。

(市長)

- ・できるだけ、提案された事業は実施していくようにしたい。提案しても事業とならなければ市民は提案をしなくなってしまう。
- ・いろいろな問題があるからこそ指摘もされるのだろうが、追及型の検討が行われていると、人は離れていってしまう。
- ・次第に、市民提案がでなくなり、一時行政提案だけになることもあるかもしれない。それでもよいと思う。
- ・市民自治区を市長提案で実施しているが、市民自治区を始めるときもいろいろな意見をいただいた。しかし、行政サービスに地域差ができることは結構なことであると考えている。

(委員)

- ・企画政策課と市民活動課の協働が重要になると提言の結びに書いたが、協働推進会議に期待することをお聞きしたい。

(市長)

- ・提案をしてきた人には、挫折と後味の悪い中、提案制度から離れてしまった人もいる。そういったことを全て受け止めた中で、少しずつ改善を加えて前に進めていってほしい。推進会議が提案者をサポートしそれを市がさらにサポートするという形で進めていきたい。推進会議の果たす役割は非常に大きい。みなさんには大いに期待している。

(委員)

- ・検討結果説明会が8月23日(水)にあるが、できるだけ最後までご出席いただきたい。
- ・提案者からの声としてお願いします。